

I 風水害の知識

1. 台風

日本列島には、毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨により度々大きな被害にあっています。

台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。

台風の大きさは「風速15m/s（メートル/毎秒）以上の半径」、強さは「最大風速」で表されます。



～風の強さと吹き方～

(P.33) 参照。

2. 集中豪雨

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、梅雨の終わり頃によく発生します。

狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は比較的困難です。

中小河川の氾濫など、大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

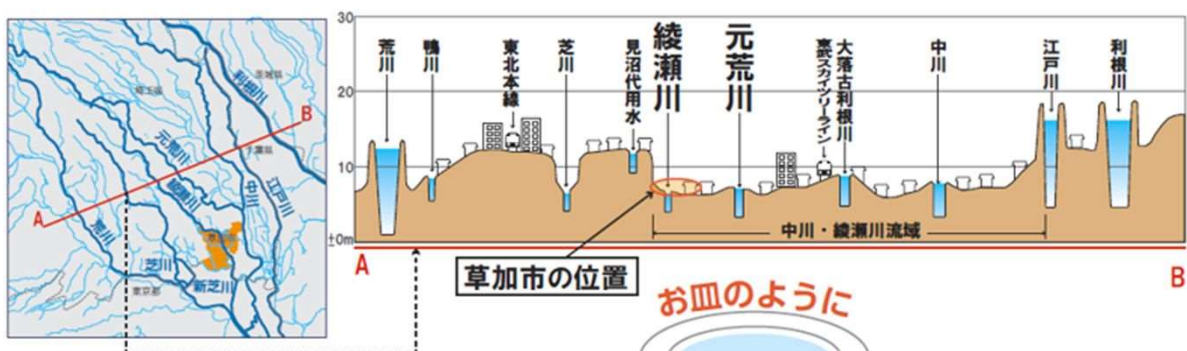


～雨の強さと降り方～

(P.34) 参照。

II 草加市の水害の特徴

市内を流れる綾瀬川や中川だけでなく、利根川や荒川など、草加市から離れた川がはん濫した場合にも、浸水するおそれがあります。



また、市内にたくさんの雨が降ると、雨水がたまってしまふことがあります。

～外水はん濫～

外水はん濫とは、上流で大雨が降り、川があふれることです。

がいすい 外水はん濫

これらの川がはん濫したときに、市内が浸水することがあります。

利根川水系 利根川 江戸川 中川・綾瀬川・元荒川
荒川水系 荒川 芝川・新芝川

あまり起こらないが起きたときには大きな被害



川があふれたり、堤防の決壊で流れ出る水は、家屋でさえ破壊するほどの勢いで一気に押し寄せてくるため、特に川に近い場所では注意が必要です。

～内水はん濫～

内水はん濫とは、地域に大雨が降り、雨水が溜まることです。

ないすい 内水はん濫

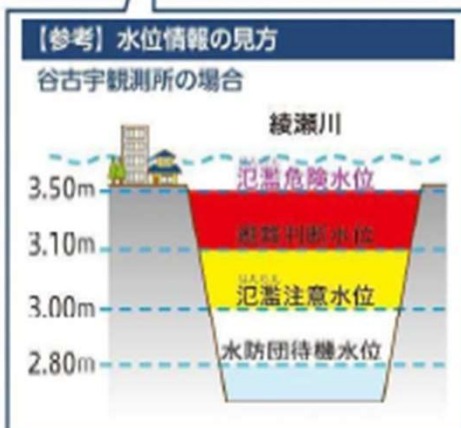
過去にも市内各所で何度も内水はん濫による浸水被害が発生しました。



地域に雨水がたまるほどの大雨が降ると、こう配の急な場所などでは流れが速くなるおそれがあり、浸水が浅くても危険な場合があります。


III 身の安全を守るために

大雨や台風は、地震とは異なり、接近時期や規模を事前にある程度予測することができます。また、正確な情報を収集することで被害を最小限にとどめることができます。気象庁が発表する、警報や注意報などの情報に注意して、いつでも適切な行動がとれるようにしましょう。



1. 情報の収集について

草加市の災害・気象情報は、以下のサービスで確認できます。


 **テレビ**
●NHK総合 1ch

データ放送に対応しているテレビでは、**1** ボタンを押すと、気象情報や災害情報が表示できます。



1ボタンで確認できる情報

- 警報・注意報の発表状況
- 台風情報
- 河川水位
- 雨量
- 避難情報の発令状況
- 開設している避難所
- 草加市からのお知らせ

 **ケーブルテレビ**

●J:COMの「防災情報サービス」 (※ケーブルテレビ加入世帯のみ)

防災行政無線放送がJ:COM(ジェイコム)専用端末で受信できる有料サービスです。

J:COMの防災情報サービス 検索

 **電話**
なにににににほーさい
 **0120-777031**
※携帯・PHS OK

防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

 **メール**

草加お知らせメール(事前に登録しておいてください)

【配信情報】

災害・気象等に関する情報(防災行政無線の放送内容、災害、防災、避難、気象情報等)

【登録方法】

- ① 右のQRコードから登録サイトにアクセスし、空メール送信
- ② 届いたメールのURLにアクセスし、利用者情報を登録
- ③ 本登録・完了メールが届いたら完了



【登録用QRコード】

緊急速報メール(エリアメール等)

地震、水害、避難、その他災害や危機事象に関する情報が配信されます。登録は不要です。

【配信情報】

・緊急地震速報、気象特別警報、洪水に関する避難情報

 **ラジオ**

- AM NHK第1 (594kHz)
- FM NACK5 (79.5MHz)
- こしがやエフエム (86.8MHz)

 **SNS・アプリ**

草加市公式X

名称：草加市
草加お知らせメールと同じ災害・気象等の情報を確認できます。



草加市公式X 検索

草加市公式LINE

名称：草加市
草加お知らせメールと同じ災害・気象等の情報を確認できます。




草加市公式LINE 検索

草加市防災情報発信アプリ「防災草加」

スマートフォン向けのアプリです。草加市の防災に関する緊急情報や防災マップを確認できます。



草加市防災アプリ 検索

 **インターネット**

草加市ホームページ



草加市の防災に関する情報を確認できます。



草加市 検索

Yahoo! 防災速報



災害発生時や台風接近時などに、避難所の開設状況や注意喚起の情報を確認できます。



草加市 Yahoo! 防災速報 検索

 **あんしんFAX・あんしん電話サービス**

前述の情報伝達手段での情報入手が難しい世帯に、災害に関わる緊急情報を自宅のファクスまたは電話でお知らせします。

● 利用申込は危機管理課 TEL:048-922-0614まで

～まるごとまちごとハザードマップ～

まるごとまちごとハザードマップとは、利根川などの大規模河川がはん濫した場合に想定される浸水深を表示した**想定浸水深看板**や、避難所の位置を示す**避難場所誘導看板**を、市内の電柱等に設置しています。まちなかに自然に溶け込んでいるため、日常生活で視認しやすく、防災に興味のない方であっても、浸水深や避難所等の情報を知ることができ、浸水深を感覚的に理解できるといった有効性があります。



2. 家庭での風水害対策

～風害対策～

風害とは、台風・低気圧・竜巻等の強風による風圧によって、建物や人が直接被害を受けることをいいます。台風などのもたらす災害は、大雨による水害だけではなく、風害にも気を付ける必要があります。飛ぶと危ないものは対策をしておきましょう。

- ①植木鉢などは家の中に入れておきましょう。
- ②雨戸がない窓は、カーテンを閉めたり、飛散防止フィルムを貼りましょう。
- ③物干し竿は、飛ばされないように、下ろしておきましょう。
- ④強い風が吹いたときは、窓の少ない部屋へ移動しましょう。



～水害対策～

<土のう・水のうについて>

・土のうとは

土のうとは、土や砂が入った袋で、家屋の入口などに置くことで、水の侵入を防ぐことができます。

台風や豪雨、洪水被害への対策として、家屋の浸水を予防・軽減するためには、土のうの設置が効果的です。



・土のうの配布

以下のとおり、市内の各消防署で配布しています。
最寄りの消防署に電話し、受け取りに行ってください。
ただし、緊急出動により不在となる場合がありますので、
ご了承ください。

・配布場所

草加消防署
(住所：神明2-2-2 電話番号：048-924-2114)

西分署
(住所：西町108-2 電話番号：048-925-3251)

青柳分署
(住所：青柳6-23-6 電話番号：048-931-3937)

北分署
(住所：清門2-1-43 電話番号：048-944-7301)

谷塚ステーション
(住所：谷塚町525-2 電話番号：048-929-9977)



・配布個数

多くの皆さんに配布するため1世帯あたり20個以内としています。
また、戸別の配送・回収は行っていません。

※返却の必要はありませんので、袋が劣化したときはホームセンター
などで袋を購入し、中の砂を入れ替えて使用してください。

・水のうとは

水のうとは、土のうとは異なり土砂の代わりに水を入れたものです。家庭にあるもので簡易的に作ることができます。

・水のうのメリット

①家にあるもので、かつ設置したい場所で作成できる。

→**持ち運び不要!**

②片付けは水を流すだけ。

→**片付けが簡単!**

③使用後は乾かしてゴミ袋として使えます。

→**再利用が可能!**



簡易水のうの作り方

① 大きめの袋を二重にして水を入れる



② 袋の口を閉める。



※空気を抜く

完成

簡易水のうの活用方法

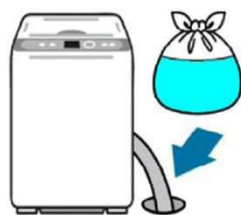
■玄関前に置いて家の中への浸水防止



■トイレからの逆流防止



■洗濯機の排水口からの逆流防止



■風呂場の排水口からの逆流防止



IV 避難ってどんなこと？

～垂直避難について～

「**垂直避難**」とは、水害時に自宅の2階以上へ避難することです。市内のほとんど全域が浸水想定区域とされている本市においては、水害が差し迫っている、または周囲が浸水している状況において避難所に避難しようとした場合、水害に巻き込まれるおそれがあります。

また、本市での浸水想定によると、最大でも3メートル程度とされており、建物の2階以上まで浸水する可能性は低いため、原則は「**垂直避難**」をお願いします。

そのため、日ごろの備え（家庭での備蓄等）が重要になります（地震対策編P.8～P.10参照）。



垂直避難（2階以上へ移動）

自宅の2階以上への避難が難しい人

浸水する危険がない親戚や知人宅へ避難することも念頭に！



- 日ごろから親戚や知人と連絡を取り合みましょう。
- 車で移動するときは、早めの行動を。
- 周囲が浸水してからの外への避難は危険ですのでやめましょう。



～マイ・タイムラインを作ろう～

マイ・タイムラインとは、水害が発生するおそれがあるときに、いざという時にあわてることがないように、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。

※作成例については、（P.35）参照。



～自主避難所について～

草加市では、水害時に公民館・文化センターを「自主避難所」として開設します。

「自主避難所」とは、地震時に開設する「指定避難所」とは異なり、自宅にいることに身の危険を感じる、または、安全を確保するための適切な場所が確保できない方の中で、ご自身の判断で、事前の避難を希望する方を対象として開設する避難所のことです。

一時的な避難場所であるため、原則として、食料等の提供はなく、災害のおそれがなくなったときは閉鎖されます。

〈一覧〉 **※これら全ての自主避難所が開設されるとは限りません。そのときの状況に応じて開設を行いますので、草加市公式ホームページやSNS等でご確認ください。**

- ・中央公民館
(住所：住吉2-9-1 電話番号：048-922-5344)
- ・柿木公民館
(住所：柿木町1263 電話番号：048-931-3117)
- ・谷塚文化センター
(住所：谷塚仲町440 電話番号：048-928-6271)
- ・川柳文化センター
(住所：青柳6-45-17 電話番号：048-936-4088)
- ・新田西文化センター
(住所：清門3-49-1 電話番号：048-942-0778)
- ・新里文化センター
(住所：新里町983 電話番号：048-927-3362)



V 避難時のポイント

・ 正確な情報の収集

テレビ、ラジオ、インターネットなどで、最新の気象情報、避難情報を収集しましょう。



・ 安全な道を通りましょう

避難する際は、できるだけ浸水していない広い道を通り、側溝や水路に転落しないよう、注意しましょう。

また、川や用水路には近づかないようにしましょう。

・ 動きやすい服装をしましょう

避難する際は、動きやすい服装で、2人以上で行動しましょう。

手袋や軍手、目立つ色のレインコート、はき慣れた靴などを身に着け、持ち物を最小限にして、身軽に動けることを優先しましょう。



長靴は水が入って重くなり、動きづらく、サンダルは底が滑りやすく脱げやすいので、運動靴をはきましょう。

・ 近隣の人々の避難に協力しましょう

避難に時間を要する方（お年寄りや子ども等）は、早めに避難することが必要になります。あらかじめ、近隣の中で、連絡手段や避難場所等について、話し合っておくと良いです。

・ 車での避難は避けましょう

緊急車両の通行の妨げになり得るため、車での避難は控えてください。

また、車が浸水すると動かなくなり、水圧によって、ドアが開かなくなる場合があります。

運転席の周囲に脱出用ハンマーを備えておき、万一のときはサイドガラスを割って脱出しましょう。



～風の強さと吹き方～



※気象庁リーフレット【雨と風】から引用

風の強さ (予報用語)	平均風速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	構造物
やや強い風	10～15	一般道路の 自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、 高速運転中に横風に流される感覚がある。	樋(とい)が揺れ始める。
強い風	15～20	高速道路の 自動車	風に向かって歩けなくなり、 転倒する人もいる。 高所での作業は極めて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタンが 外れ始める。	高速運転中に横風に流される間隔が 大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。 雨戸やシャッターが揺れる。
非常に強い風	20～25	特急電車	何かにつかまらなると 立ってられない。 飛来物により負傷する おそれがある。	細い木の幹が折れたり、 根の張っていない 木が倒れ始める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常での速度での運転が困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。 固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材)が 広範囲に破れる。
	25～30					
猛烈な嵐	30～35	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 倒れる電柱や外灯が でてくる。 倒壊するブロック塀が でてくる。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。 養生の不十分な仮設現場崩落する。 外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。 住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。
	35～40					
	40～					



～雨の強さと降り方～

※気象庁リーフレット【雨と風】から引用

雨の強さ (予報用語)	1時間雨量 (mm)	人の受けるイメージ	人への影響	屋外 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
やや強い雨	10～20	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	地面一面に水たまりができる。	
強い雨	20～30	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。		ワイパーを速くしても見づらい。
激しい雨	30～50	バケツをひっくり返したように降る。		道路が川のようになる。		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。 (ハイドロブレーニング現象)
非常に激しい雨	50～80	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	車の運転は危険。
猛烈な雨	80～	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。				

マイ・タイムラインを作ろう!

マイ・タイムラインとは、水害が発生するおそれがあるとき、いざというときにあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。

いつ		各ページを見て、とるべき行動を考えてみよう!		だれが何をするのか				
周囲の状況(例)	避難情報	とるべき行動(例)	名前 草加花子	名前	名前	名前	名前	
大雨の前の備え 数日後に猛烈な台風が接近する可能性があるようです。まだ周りは晴れています。 	警戒レベル1	心の備えを高める ・ハザードマップで自宅の災害リスクを確認(⇒p.8-9, 21-25) ・貴重食料等の確認、買い出し(⇒p.13) ・簡易水のうを準備(⇒p.13) ・台風の進路と危険な時間帯を確認(⇒p.11) ・家族の行動予定を確認(⇒p.31) ・強風や浸水への対策(⇒p.16, 28) ・避難情報の入手方法を確認(⇒p.11)	● テレビで雨の状況を確認 ● ハザードマップで安全な避難経路の確認 ● 防災バッグの中身を確認					
避難前に確認すること 猛烈な台風が関東を直撃する予報がでています。気象庁が 大雨注意報 を発表しています。  今後、気象庁が 警報 を発表する可能性が高まります。	警戒レベル2	避難行動の確認 ・避難方法を確認(⇒p.16) ・非常用持出品を準備(⇒p.12) ・大切なものを高い所へ移動 	● 携帯電話を充電 ● 常用薬を確認 ● 1階の逃げる等を2階以上に上げる					
避難時に注意すること ・雨と風がかなり強くなりました。 ・排水しきれない雨水が道路にたまっていきます。 ・気象庁が 大雨警報 を発表しています。 ・市が 高齢者等避難(警戒レベル3) を発令しました。  市が 避難指示(警戒レベル4) を発令しました。 今後、気象庁が 特別警報 を発表する可能性が高まります。 災害発生! 市が 緊急安全確保(警戒レベル5) を発令しました。外は身の危険を感じるほどの風雨が吹き荒れています。これからの自宅以外への避難はかえって危険です。	警戒レベル3	高齢者等は避難、それ以外の人は準備 ・ご近所の一人暮らしの高齢者などへの声かけ ・自宅に2階がない場合は、近所の高い建物や親戚の家に避難	● 隣の家に声かけ ● 家族で避難開始 ● 家族で2階以上に避難					
	警戒レベル4	全員避難 自宅避難するとき ・2階以上の安全な部屋へ移動(⇒p.16) 避難所へ行くとき ・ご近所の人への声かけ ・避難所へ避難(⇒p.4)						
	警戒レベル5	命を守る最善の行動 自宅避難するとき ・2階以上の安全な部屋へ移動(⇒p.16)	● 家族の安否確認 ● 備蓄品の計画的消費					

災害発生時の対応

避難先・避難場所

避難時の準備

マイ・タイムライン